


















分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
																									
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		経営理念については、HPに公開し共有している。 経営目標については、期首に方針と共に共有している。 以後、どちらも定例会等で認識合わせ、達成状況の把握を行っている。								8	9											17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		リスク・コンプライアンスに関する規程があり、法令遵守の必要性・重要性を全従業員に向けて展開している。																			16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		監査役を選任し、健全で公平な業務が行われているか定期的に調査を行い、必要に応じたツール(KOT・Thunderbird・MicrosoftTeams等)を使用し周知している。												10							16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		管理部門の社員から担当者または責任者を任命し、配慮すべき事由に合った教育・講習を受けられるようにしている。																			16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		新入社員研修等に知的財産権に関する内容を加え、全社員がeラーニングで学習できる環境を整備している。								8.2 8.3	9										16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		ISO27001(ISMS)の認証を取得し運用している。																			16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		取引先との密なやり取りを通して、自社活動がステークホルダーに与えている影響について把握するよう取り組んでいる。																		16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5				8		10		12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		BCPを策定し、定期的に見直しを行っている。										9		11		13.1				16	17	
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		複数の役員を新任し、後継者の指導・育成に取り組んでいる。									8	9									17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●				1	2			5			8				12	13	14	15	16	17		
労働・人権	12	【差別的禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		リスク・コンプライアンス規程や各種ハラスメント規程を整備し、防ぐ体制を整備するとともに、定期的な面談を実施し差別や人権侵害がないことを確認し、相談窓口を設置している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7			
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		採用時に安全衛生に関する教育を行い、定期的に安全衛生委員会を開催し、情報の共有と改善に取り組んでいる。			3					8.8												
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		従業員の公平な待遇を徹底している。 顧問労士と連携し、賃金規程の全面改訂や就業規則の変更等を行い対応している。					5.5			8.5		10.2 10.3										
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		毎月、全従業員の残業時間を集計し、長時間労働を見える化している。有給休暇についても取得状況を把握し、仕事と家庭のバランスをとれるよう体制を整えている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3										
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		毎年熊本県の助成金制度を利用した人材育成訓練を実施し、新卒や中途入社社員を対象にした研修を行っている。 既存社員においてはe-ラーニングを活用し、能力開発・教育訓練の機会を提供している。				4	5.5			8	9											
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		健康診断・ストレスチェックを実施し、その結果に応じた対応ができる体制を整えている。 産業医と連携し、相談できるような体制作りを行っている。			3					8											17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		外国人実習生の為の寮を完備し、寮が無い拠点においても社宅を準備し、外国人の積極的採用に取り組んでいる。 多様な人材が適材適所で活躍できるよう、様々な案件を準備している。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							16.7			
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェビナー等導入している。	●		テレワーク制度を導入している。専用ソフトを導入し、自宅のパソコンから社内ネットワークへアクセスできる環境づくりを行っている。 Web会議、チャットツールを導入し、県をまたぐ移動の軽減、非接触での打合せを推奨している。			3					8	9.1		11	12								
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		SFA、グループウェア、チャットツールの活用に加え、基幹システムまでを含めたワンプラットフォーム化を実施する事により、業務の効率化に留まらない仕組み作りを行っている。								8	9.1		11	12								
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●		2019年10月にプライト企業認定。更新を続けており、現在は2025年10月10日まで認定期間となっている。				3	4			8	9			12								

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		廃棄物に関するルールを徹底し、リサイクル業者・産業廃棄物処理業者と連携し、適切な処理を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		会社全体での電気使用量や社用車の給油量・走行距離を担当部署がチェックし、過度な使用が認められる部分については指摘する仕組みがある。 OA機器のスリープモード、省エネモードを活用している。空調の設定温度を季節に合わせて明記・設定している。							7.3						13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		会社全体でエアコンは夏は28℃と冬は20℃に設定し運用するよう掲示している。 エアコン停止時に表示されるCO2排出量を記録し、前年同月より超過しないよう取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		事業及び従業員の活動において、梱包材の再利用をするなどして、廃プラやレジ袋などの使用削減に取り組んでいる。						6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		ペーパーレス化や裏紙の利用を推進し、効率的な資源利用に取り組んでいる。 再生用紙の使用を推進している。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		薬剤について、下水などを汚染する恐れのある場所、その他生物等に被害を及ぼすおそれのある場所では取扱わず、指定された場所に保管し、薬剤によっては施錠をし関係者以外触れないように取り組んでいる。 また、節水意識を高めるためのポスター掲示を行っている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b						11.5			14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		ペーパー類は再生紙が用いられているものを積極的に購入している。											9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4								12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●															11.6 11.7		13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6					9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6							11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●																	12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●														9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a			9.4			11.6 11.a	12.8	13				17.2

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		ISO9001・ISO27001を取得し、品質を確保し向上する為の仕組みを整えている。			3.9						9			12.4							
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		階段に手すりを設置し、転倒防止など安全に利用することができるよう整備している。									9.1	10	11.7							17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●				2.3 2.4				7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15			17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15				
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15			17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		2020年9月から募集を行っている私募債のうち、収益金の一部をSDGsに資する団体へ寄付する取り組みを行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		事業への被害を軽減する為の環境作りに取り組んでいる。災害に対応した保険に加入しており、有事の際に対応できるようにしている。				4							11.5		13.1			16			
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●			1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●											9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	毎年夏・冬に高校生と大学生向けのインターンシップ受け入れを行っている。				4					8.6		10.2							17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	UIターン推進企業に登録しており、熊本県下の高校・大学で開催される合同企業説明会等に積極的に出展している。				4.4					8.5 8.6									17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17	